

中山（金塚山）

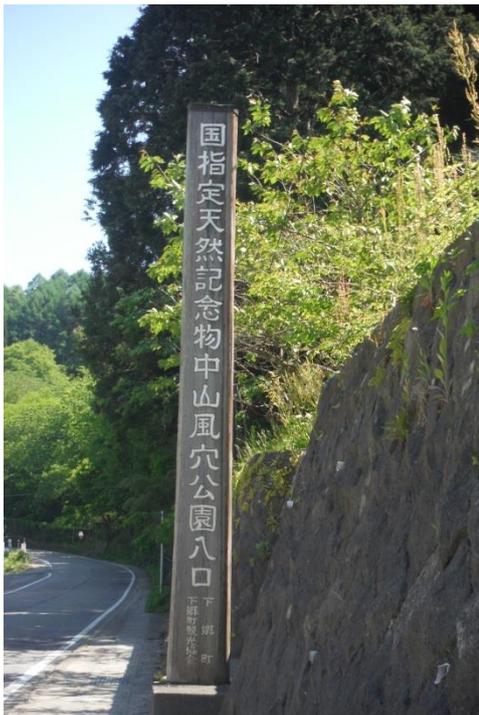
M・T記

期 日：5月24日(金) 晴れ

コース：北コース9：21→電波塔10：42→中山山頂10：46～55→電波中継所11：13→南コース入口11：21→中山風穴第六指定地との分岐11：54→冷風体験施設13：06～13：20→北コース(出発地点)13：13→湯野上温泉神社13：15→国道121号に出る→湯野上温泉駅13：36（会津鉄道東武日光行）→塔のへつり駅13：45→塔のへつり散策→塔のへつり駅到着14：20～15：00→湯野上温泉帰着15：05

参加者：M・T単独

報 告：



国道121号沿いに有る「国指定天然記念物中山風穴公園入口」のポールで曲り、急坂を上がる。北コース100m先の案内に従って北コース入口へ向かう。



北コース入口付近は駐車場では無いが、車を止めて身支度する分には迷惑にはならない広さで有る。山頂迄、2.2キロの案内。左下に温泉神社が見える。

足元の花の写真を撮りながらゆっくり歩いて20分後に、頂上まで1.2キロの案内板通過。



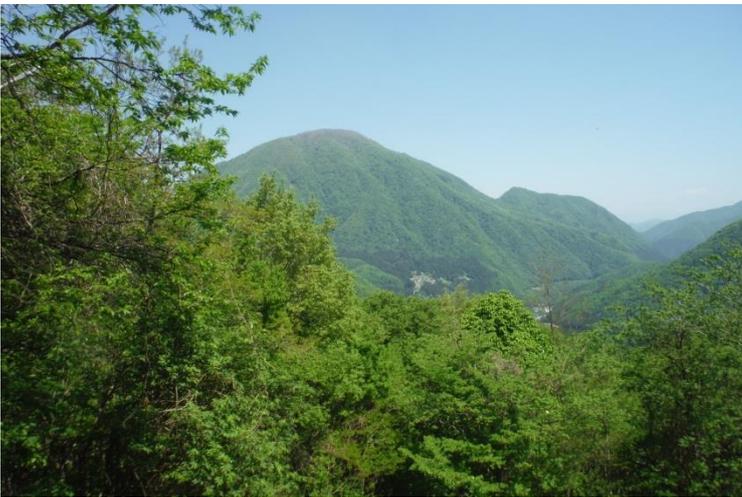


緩やかにブナ林の中を登ると、
「山頂へガンバレ」の応援が木に打ち付けて
有った。

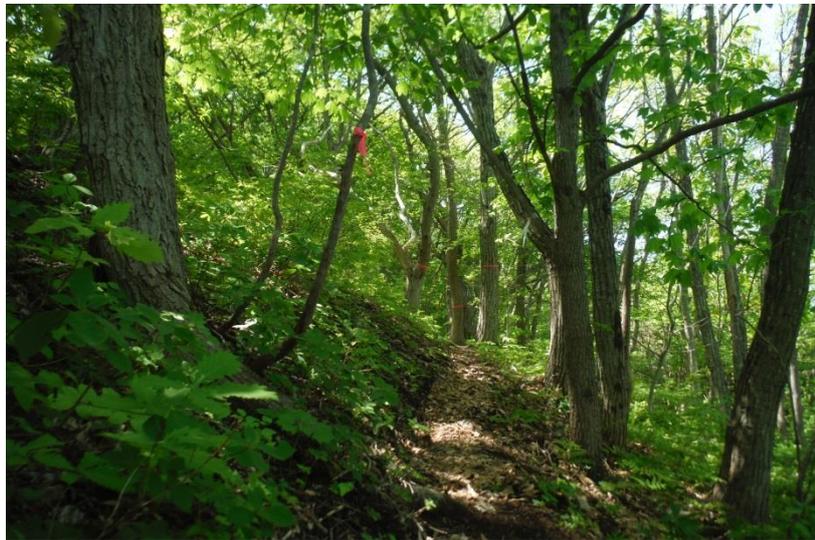
更にこんな板も数ヶ所有った



明日登る小野岳が見える。



ブナの新緑が綺麗な登山道。
あまりキツイのぼりは無い。



全く読めない案内板。左は電波塔、右は風穴方面と
確認し眺望を楽しむため電波塔へ。





電波中継所からの小野岳。中継所は見晴が良く足元にはわらびが沢山生えていた。

中山（金塚山）山頂



山頂からの眺め



先程の読めない案内板まで戻り南登山口・中山風穴方面に向かう。

電波中継所で道は直角に曲がる。



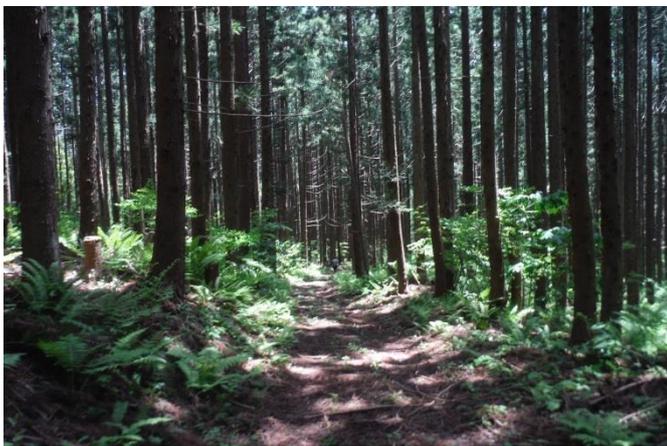


杉林の中の林道歩き

電波中継所からの階段を下り大倉林道に出る。
降り切った所が、南コース入口で案内板に従って、風穴・湯野上温泉駅を目指す。



林道が中山風穴第六指定地とぶつかった場所



標高500m位の地だが、岩の隙間から冷たい空気が流れだすので、高山植物が生育しているという。

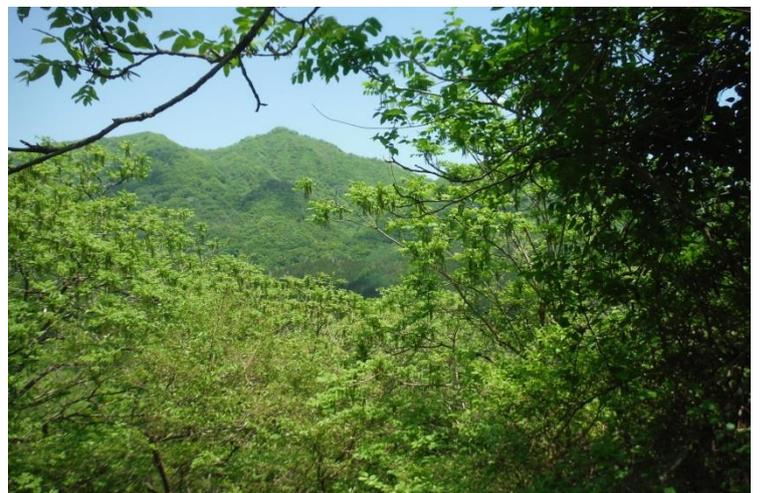


タカネバラが見ごろだった。



指定地付近には条件にあったそれぞれの花が咲いていた。

後にしてきた中山が見える。

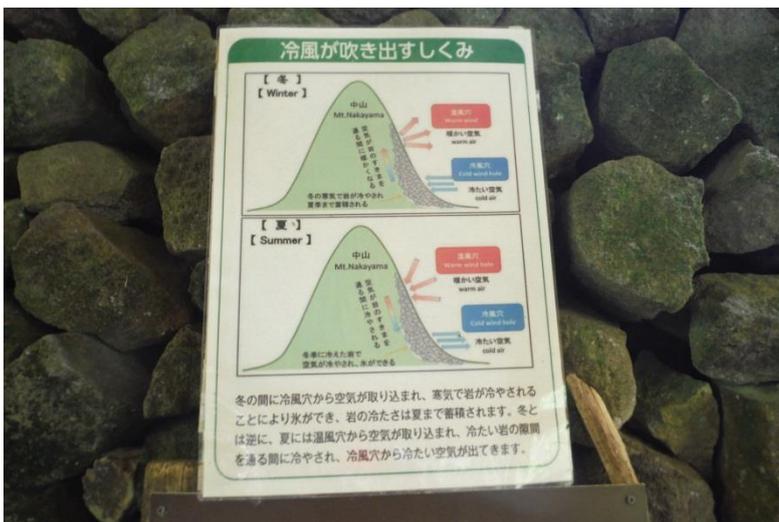




こんな場所に手をかざすと冷気を感じる。
第六から第一迄逆順に風穴指定地を巡り
最後に冷風体感施設に入ってみた



施設の中には冷風が吹き出す仕組み等の説明があった。「冬の間冷風口から空気を取り込まれ、寒気で岩が冷やされることにより氷が出来、岩の冷たさは夏まで蓄積される。冬とは逆に夏には温風口から空気を取り込まれ冷たい岩の隙間を通る間に冷やされ冷風口から冷たい空気が出てきます。」との事です。



朝、出発した北コースに戻り今度は温泉神社に降り立ち風穴入口のポールの有った国道121号に戻る。

車道をそのまま下り、湯野上温泉駅迄歩く。13:31分の電車に乗る予定で急いだが、電車が僅かに遅れていてゆとりを持って乗車出来た。

茅葺屋根の湯野上温泉駅は、待合室に囲炉裏が切っており、しごろう餅を食べながらお茶が飲めるようになっていた。

2両編成の東武日光行に乗車し一先の塔のへつり駅迄行く。

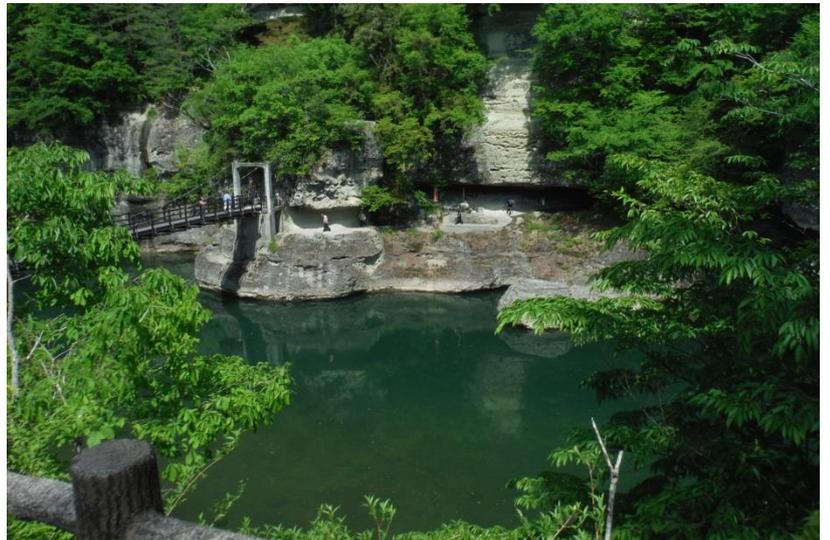


湯野上温泉駅外観



無人駅の塔のへつり駅は観光地らしい門構えの駅だった。

塔のへつり全景(?)。見える範囲が歩ける場所なので、散策は20分位で終わる。昔、「ここは海だった」の言葉だけが目に残る。へつり『峯』の漢字が面白い。



可愛い賑やかな1両編成の会津鉄道に乗って湯野上温泉に戻る。



湯野上温泉駅では足先だけ足湯に入り迎いの車を待った。

